

高知県感染症発生動向調査（週報）

2013年 第12週 （3月18日～3月24日）

★ お知らせ

○インフルエンザに注意して！

定点医療機関からの報告は定点当たり 9.75 と第5週をピークに減少し、注意報値（10.00）を下回りました。迅速検査結果では、小児科ではインフルエンザウイルスA型 28%、B型 72%とB型の割合が高いですが、内科ではA型 69%、B型 31%とA型の割合が高くなっています。

感染力が大変強いので、引き続き手洗い、うがい、咳エチケットに注意してください。

咳エチケット

- ★ 咳やくしゃみなどの呼吸器症状がある方は、必ずマスクを着用しましょう。
- ★ 咳やくしゃみをするときは、ハンカチやティッシュで口や鼻を押さえ、ウイルスの飛散を防ぎましょう。
- ★ 使用したティッシュなどは、ゴミ箱に捨てましょう。
- ★ 咳やくしゃみをした後は、石鹸を使用して、よく手を洗いましょう。

○感染性胃腸炎に注意して！

定点医療機関からの報告は定点当たり 7.83 と前週の 9.87 から減少しています。例年初冬から増加し始め、12月頃に一度ピークをむかえた後、春にもう一度なだらかな山となり、その後初夏まで継続するという流行パターンをとっていますので引き続き注意してください。予防の基本は手洗いです。

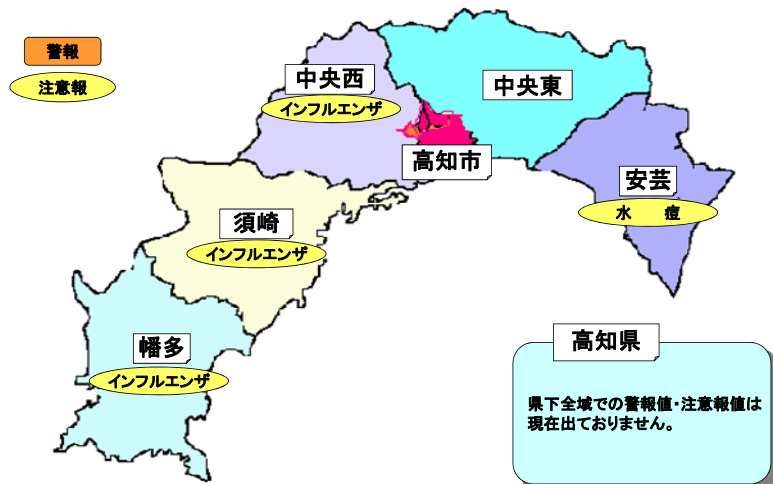
★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症 （上位疾患）

↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↘	9.75	全体は減少し、注意報値を下回った。全ての地域で減少したが、幡多、須崎、中央西では引き続き注意報値を超している。
感染性胃腸炎	↘	7.83	高知市、中央西で増加しているが、全体では減少している。
水痘	→	1.43	安芸、中央西、高知市で増加し、安芸では注意報値を超している。
マイコプラズマ肺炎	↗	0.75	高知市で2人から4人に増加している。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	0.73	中央東、高知市で増加している。

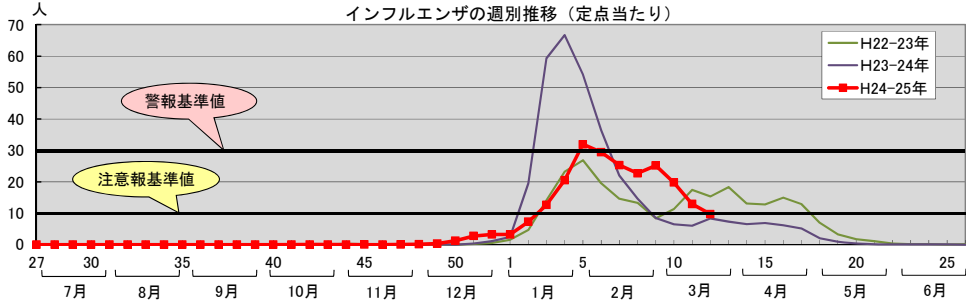
★ 地域別感染症発生状況



★ 気をつけて！

○インフルエンザ：9.75（注意報値：10.00 警報値：30.00）

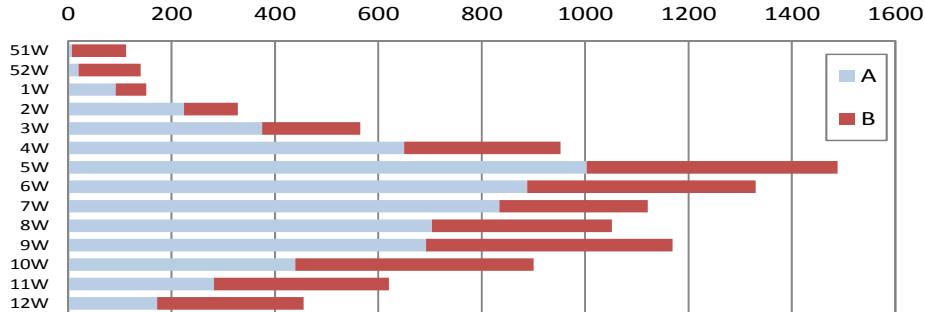
定点医療機関からの報告では定点当たり 9.75（前週：12.94）と減少し、注意報値を下回りました。全ての地域で減少しましたが、幡多（18.88：前週 20.00）須崎（11.75：前週 15.00）中央西（11.20：前週 15.40）では引き続き注意報値を超えています。病原体定点から Influenz virus B/Yamagata が 1 例、Influenz virus B/Victoria が 6 例検出されました。引き続き手洗い、うがい、咳エチケットに心がけてください。



インフルエンザ迅速検査結果

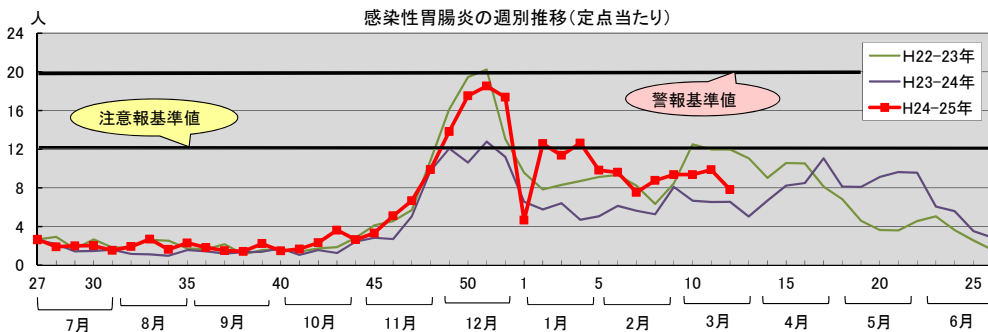
報告週	安芸			中央東			高知市			中央西			須崎			幡多			合計		
	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B
51W	84		30	35		7	277	3	68	19	3		16	1		17			448	7	105
52W	50	1	16	66		13	308	13	87	38	3	1	34	2	1	14	1	2	510	20	120
1W	55	2	16	46	6	11	232	49	24	60	13	3	25	7		52	15	5	470	92	59
2W	66	16	7	124	25	20	404	101	49	104	35	18	45	12	3	129	35	7	872	224	104
3W	87	25	9	136	37	27	559	170	97	144	43	24	98	32	14	249	68	19	1273	375	190
4W	74	31	18	240	53	53	775	256	138	249	96	40	232	86	39	410	128	14	1980	650	302
5W	151	68	16	469	163	109	1055	327	217	323	92	83	184	56	47	620	297	13	2802	1003	485
6W	123	41	15	374	127	110	953	282	171	356	110	87	171	39	40	726	289	19	2703	888	442
7W	149	33	31	310	93	35	946	283	112	292	103	53	192	47	31	737	275	25	2626	834	287
8W	123	19	26	374	111	86	839	244	94	269	74	54	201	65	42	533	191	46	2339	704	348
9W	158	21	52	578	176	109	811	200	131	256	65	57	169	44	32	613	186	96	2585	692	477
10W	130	8	46	449	87	125	706	129	123	182	59	37	164	36	34	548	120	96	2179	439	461
11W	61	4	9	317	44	77	485	78	87	153	56	21	134	30	29	469	70	115	1619	282	338
12W	37	5	3	231	19	61	391	60	57	143	46	10	116	29	17	483	13	135	1401	172	283

インフルエンザ迅速検査（県計）



○感染性胃腸炎：7.83（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり 7.87（前週：9.87）と減少しています。高知市（11.27：前週10.73）中央西（5.67：前週4.00）で増加しています。定点医療機関からの情報ではロタウイルスによる感染性胃腸炎の報告があります。病原体定点からは、ノロウイルスが2件、サポウイルスが1件検出されています。感染力が強く今後も施設等での集団発生の危険性が考えられるので注意してください。予防方法の基本は、手洗いです。特に、排便後、調理や食事の前には入念に手洗いをしましょう。



★ 病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
11	—	2	女	中央東	Norovirus GII NT
11	感染性胃腸炎	2	男	須崎	Sapovirus genogroup unknown
11	百日咳	3ヶ月	女	中央西	<i>Bordetella pertussis</i>
11	マイコプラズマ肺炎	7	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
7	インフルエンザ	8	女	高知市	Influenza virus B/Victoria
7	インフルエンザ	1	男	高知市	Influenza virus B/Victoria
8	インフルエンザ	2	女	須崎	Influenza virus B/Victoria
9	インフルエンザ	6	女	須崎	Influenza virus B/Victoria
9	インフルエンザ	20	男	中央東	Influenza virus B/Yamagata
10	リンゴ病疑い	5	女	中央東	Human herpes virus 7
10	不明発疹症	5	女	須崎	Human herpes virus 7
10	インフルエンザ	34	男	中央東	Influenza virus B/Victoria
10	インフルエンザ	13	男	中央東	Influenza virus B/Victoria
10	感染性胃腸炎	1	男	中央東	Norovirus GII NT
10	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	男	高知市	<i>Streptococcus pyogenes T12</i>
10	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	女	中央東	<i>Streptococcus pyogenes T28</i>

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	3	31	60歳代(男)	安 芸
				80歳代(女)	中央東
				70歳代(男)	高知市

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	アデノウイルス扁桃炎 1例 (2歳男)
中央東	高知大学医学部付属病院小児科	ロタウイルス腸炎 4例 (1歳2名、2、7歳男)
	早明浦病院小児科	保育所で水痘流行中 ロタウイルス感染症 1例 (11ヶ月女)
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 2例 (7歳男女)
	細木病院小児科	ロタウイルス(+) 1例 (2歳男) 1/17検体から マイコプラズマ(+)クラミジアニューモニエ(+) 1例 (12歳女)
	高知医療センター小児科	アデノウイルス(+) 2例 (1歳男女) ロタウイルス 1例 (10ヶ月男)
中央西	日高クリニック	帯状疱疹 4例 (50歳代男、90歳代女3名)
	石黒小児科	単純ヘルペス 1例 (6ヶ月男)
須 崎	もりはた小児科	アデノウイルス扁桃炎 4例 (1歳3名、2歳1名同じ託児所で流行)
幡 多	幡多けんみん病院小児科	ロタウイルス腸炎 1例
	渭南病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 3例 (2歳女、2、3歳男)

※インフルエンザ情報につきましては迅速検査結果に反映させていただいておりますので、ホット情報では省かせていただきます。

★ 全国情報

第10週 (3/4～3/10)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核335例

3類感染症：細菌性赤痢5例、腸管出血性大腸菌感染症14例、腸チフス2例

4類感染症：E型肝炎1例、チクングニア熱2例、デング熱4例、レジオネラ症13例

5類感染症：アメーバ赤痢14例、ウイルス性肝炎1例、急性脳炎3例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、後天性免疫不全症候群12例、ジアルジア症1例

先天性風しん症候群1例、梅毒15例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、

風しん241例、麻しん12例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、エキノкокクス症1例、急性脳炎7例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例

◆インフルエンザ

インフルエンザ (Influenza) は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。典型的な発症例では1～4日間の潜伏期間を経て、突然に発熱 (38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻水・咳などの呼吸器症状がこれに続く。通常は1週間前後の経過で軽快するが、いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いのが特徴である。主な感染経路はくしゃみ、咳、会話等で口から発する飛沫による飛沫感染であり、他に接触感染もあるといわれている。

インフルエンザの感染対策としては、飛沫感染対策としての咳エチケット、接触感染対策としての手洗い等の手指衛生が重要である。インフルエンザでは、たとえ感染者であっても、全く症状のない不顕性感染例や、感冒様症状のみでインフルエンザウイルスに感染していることを本人も周囲も気が付かない軽症例も少なくないため、特にヒト・ヒト間の距離が短く、濃厚な接触機会の多い学校、幼稚園、保育園等の小児の集団生活施設においては可能である場合は職員も含めて全員が咳エチケット、手指衛生を実行するべきである。

感染症発生動向調査では、全国約5,000カ所 (小児科定点約3,000、内科定点約2,000) のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析している。インフルエンザの定点当たり報告数は2012年第43週以降14週連続して増加して2013年第4週にピーク (定点当たり報告数36.44) を迎え、その後は減少が続いて第10週の定点当たり報告数は10.37 (報告数51,190) となった。都道府県別では愛知県 (27.27)、福井県 (21.38)、鹿児島県 (21.09)、徳島県 (20.97)、広島県 (20.66)、岐阜県 (19.97)、高知県 (19.77) の順となっている。45都道府県で前週より減少がみられた。

全国約500カ所の基幹病院定点からのインフルエンザによる入院患者の報告数をみると、2013年第10週の報告数は433人であり、2012年第36週以降これまでの累積報告数は8,732人となった。累積報告数の年齢群別内訳は、80歳以上2,776人 (31.8%)、0～4歳1,693人 (19.4%)、70代1,607人 (18.4%)、60代812人 (9.3%)、5～9歳629人 (7.2%) の順であり、60歳以上と9歳以下の入院例が全体の86.1%を占めている。

インフルエンザの重篤な合併症であるインフルエンザ脳症は、2004年4月より急性脳炎の発生動向調査の一環として報告されるようになった。今シーズンはこれまでに22都道府県から55例 (男性28例、女性27例、55例中8例は死亡報告あり) の報告があった。診断週別にみると、2012年第51週以降継続的に報告があり、2013年第3週と第6週に11例と最多の報告数となっており、インフルエンザの報告数が多かった第4週と第5週はそれぞれ10例および5例であった。年齢は0～84歳 (中央値12歳、平均値28.6歳) で、これまでのところ小児では5歳が5例と最も多く、成人では60～79歳の年齢群が12例となっている。ウイルス型別ではA型42例 (76.4%、うちAH1pdm09が0例、AH3が4例)、B型7例 (12.7%)、型別不明6例 (10.9%) となっており、今シーズンの流行を反映してA型が多数を占めている。

2012年第36週～2013年第10週までに国内では4,013検体のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、AH1pdm09が86件 (2.1%)、AH3亜型 (A香港型) 3,459件 (86.2%)、B型468件 (11.7%) とこれまでのところAH3亜型が大半を占めている状態が続いている一方で、直近の5週間をみるとB型の割合が増加してきている。

2013年第5週以降、インフルエンザの報告数は減少が続いているが、中部地方以西では、定点当たり報告数が全国平均値を大きく上回っているところも認められる。全国の基幹病院定点からの入院報告数はこれまでに8,732人となっており、患者発生の中心とは異なった高齢層の入院報告数が多くなっている。インフルエンザ脳症はこれまでに55例が報告されており、昨シーズンの同時期までの報告数 (71例) よりも減少しているが、20歳以上の成人の報告数は23例と昨シーズンの報告数 (9例) を大きく上回っている。今しばらくはインフルエンザの発生動向には注意が必要である。

.....

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第12週 平成25年3月18日(月)～平成25年3月24日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(11週)	高知県(12週末累計) H24/12/31～H25/3/24	全国(11週末累計) H24/12/31～H25/3/17
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
インフルエンザ	インフルエンザ	13	82	119	56	47	151	468 (9.75)	621 (12.94)	40,091 (8.13)	10,604 (220.92)	982,067 (199.36)
小児科	咽頭結核熱			2				2 (0.07)	2 (0.07)	991 (0.32)	16 (0.53)	9,551 (3.04)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	7	7	3	1	3	22 (0.73)	16 (0.53)	7,183 (2.28)	254 (8.47)	63,385 (20.19)
	感染性胃腸炎	10	43	124	17	12	29	235 (7.83)	296 (9.87)	32,009 (10.18)	3,395 (113.17)	281,917 (89.78)
	水痘	9	8	12	8	2	4	43 (1.43)	49 (1.63)	3,392 (1.08)	572 (19.07)	43,970 (14.00)
	手足口病							()	()	629 (0.20)	44 (1.47)	6,203 (1.98)
	伝染性紅斑			2				2 (0.07)	()	165 (0.05)	24 (0.80)	1,819 (0.58)
	突発性発疹			4	1	1		6 (0.20)	7 (0.23)	1,584 (0.50)	104 (3.47)	15,255 (4.86)
	百日咳			1				1 (0.03)	1 (0.03)	24 (0.01)	6 (0.20)	336 (0.11)
	ヘルパンギーナ							()	()	70 (0.02)	1 (0.03)	682 (0.22)
	流行性耳下腺炎		5	2		1		8 (0.27)	2 (0.07)	770 (0.24)	27 (0.90)	8,094 (2.58)
眼科	RSウイルス感染症		1	9			3	13 (0.43)	22 (0.73)	1,023 (0.33)	489 (16.30)	16,163 (5.15)
	急性出血性結膜炎							()	()	17 (0.03)	()	176 (0.26)
基幹	流行性角結膜炎							()	()	290 (0.43)	2 (0.67)	3,527 (5.19)
	細菌性髄膜炎							()	()	10 (0.02)	1 (0.14)	96 (0.21)
	無菌性髄膜炎							()	()	10 (0.02)	()	108 (0.23)
	マイコプラズマ肺炎		2	4				6 (0.75)	4 (0.50)	248 (0.53)	59 (8.43)	3,026 (6.48)
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							()	()	11 (0.02)	3 (0.43)	152 (0.33)
計	33	148	286	85	64	190	806		88,517	15,601	1,436,527	
(小児科定点当たり人数)	(13.25)	(16.58)	(22.25)	(20.87)	(20.25)	(26.68)	(20.81)			(385.33)		
前週	37	210	329	98	94	252		1,020				
(小児科定点当たり人数)	(13.00)	(22.86)	(24.90)	(22.39)	(32.00)	(38.40)		(26.10)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(11週)	高知県(12週末累計) H24/12/31～H25/3/24	全国(11週末累計) H24/12/31～H25/3/17
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
インフルエンザ	インフルエンザ	3.25	7.45	7.44	11.20	11.75	18.88	9.75	12.94	8.13	220.92	199.36
小児科	咽頭結核熱			0.18				0.07	0.07	0.32	0.53	3.04
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	1.00	0.64	1.00	0.50	0.60	0.73	0.53	2.28	8.47	20.19
	感染性胃腸炎	5.00	6.14	11.27	5.67	6.00	5.80	7.83	9.87	10.18	113.17	89.78
	水痘	4.50	1.14	1.09	2.67	1.00	0.80	1.43	1.63	1.08	19.07	14.00
	手足口病									0.20	1.47	1.98
	伝染性紅斑			0.18				0.07		0.05	0.80	0.58
	突発性発疹			0.36	0.33	0.50		0.20	0.23	0.50	3.47	4.86
	百日咳			0.09				0.03	0.03	0.01	0.20	0.11
	ヘルパンギーナ									0.02	0.03	0.22
	流行性耳下腺炎		0.71	0.18		0.50		0.27	0.07	0.24	0.90	2.58
眼科	RSウイルス感染症		0.14	0.82			0.60	0.43	0.73	0.33	16.30	5.15
	急性出血性結膜炎									0.03		0.26
基幹	流行性角結膜炎									0.43	0.67	5.19
	細菌性髄膜炎									0.02	0.14	0.21
	無菌性髄膜炎									0.02		0.23
	マイコプラズマ肺炎		2.00	0.80				0.75	0.50	0.53	8.43	6.48
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0.02	0.43	0.33
計	13.25	16.58	22.25	20.87	20.25	26.68	20.81			385.33		
(小児科定点当たり人数)												
前週	13.00	22.86	24.90	22.39	32.00	38.40		26.10				
(小児科定点当たり人数)												

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869